

## 加賀野地区との意見交換会で寄せられた意見（令和7年12月協議）

| No | 加賀野地区からの主な意見  | 常任委員会での協議内容（執行部からの回答）   |
|----|---|---|
| 1  | <p>松陽小学校の校区内には児童館がなく、子供の居場所づくりが求められている。</p> <p><b>【意見交換会での担当班（議員）の回答】</b><br/> <b>児童館が無い地区の事例として、コミュニティセンターの開放状況やイベントの周知に力を入れ、地域の児童にコミュニティセンターに来てもらうという話も聞いている。</b></p> | <p><b>【文教福祉常任委員会】</b></p> <p>現在白山市には児童館が8館、児童センターが6館、合計14館あります。児童館は中高生世代も利用できる施設であり、市内すべての中学校区内に、1館以上の児童館・児童センターを設置していることから、一定の均衡が取れた配置状況であります。児童館がない小学校の校区におきましては、出前児童館を実施し、児童館はどんなところか知ってもらう機会としております。また、児童館のイベント情報を子育てアプリやホームページで配信を行っており、近隣の児童館・児童センターの利用につながるよう努めてまいります。</p> |
| 2  | <p>学童保育だけでなく、学童に通っていない児童が放課後や休日に過ごせる居場所を確保してほしい。</p>  | <p><b>【文教福祉常任委員会】</b></p> <p>市内には児童館・児童センターが14か所、大型遊具等がある公園が9か所、図書館やトレインパーク白山といった施設もありますので、放課後や休日には家族と一緒に過ごせる居場所としてこれらの施設を利用していただくことができます。また、加賀野地区では、地域の団体が加賀野コミュニティセンターで月1回、子供の居場所、みんなの食堂を開催していますので、地域の活動事業に参加することもできると思います。</p>   |
| 3  | <p>学校の空き教室を活用した地域活動ができるようにしてほしい。新たな建物を建設しなくても学校の空き教室を活用し、地域活動や子供の居場所として利用できればよいのでは。ハード（建物）が負の財産とならないように、ソフトに力を入れて充実させてほしい。</p>  | <p><b>【文教福祉常任委員会】</b></p> <p>地域社会全体で子育て家庭を見守り、子育てしやすいまちづくりを推進するため、市内の児童福祉施設やコミュニティセンター等を拠点とし、子供や子育て中の親子が気軽に楽しく集える交流の場を提供する子育て支援活動団体や、子供を地域で見守る拠点として、主に子供を対象に、食事等を提供し、地域の幅広い世代と交流ができる子供の居場所を提供する食堂運営団体に支援を行っておりますので、子供の居場所づくりに活用していただきたいと思います。また、活動団体が広がるように、継続した支援や事業の周知を行って</p>  |

|   |  |   |
|---|--|---|
|   |  | <p>まいります。</p> <p>学校の空き教室についてですが、空き教室の使用は管理上、活用は難しい点が多い状況になっておりますが、学校施設開放事業といたしまして、体育館やグラウンドは利用者、利用責任者の申請によって利用することができます。また、各地区のコミュニティセンターにも、期間を定めて小中学生に開放しているセンターもあり、さらに、加賀野コミュニティセンターのように、1年を通して小学生を対象とした活動を積極的に行っている地区もあることから、このような地区を増やしていくことができるように、今後も働きかけていきたいと思っております。</p>   |
| 4 | <p>松陽小学校の周辺は公衆トイレ等が無い<br/>ため、放課後、学校周辺で遊んでいる子供達<br/>にも気軽に学校のトイレを貸せる環境にし<br/>てほしい。</p> | <p><b>【文教福祉常任委員会】</b></p> <p>学校のトイレにつきましては、インターホンを<br/>鳴らしていただければトイレを使うことが<br/>できます。</p>  |
| 5 | <p>コミュニティセンターやコミュニティス<br/>クールの体制を市民がわかりやすく理解<br/>できるように周知してほしい。</p>                  | <p><b>【文教福祉常任委員会】</b></p> <p>コミュニティスクールの体制の周知につ<br/>きましては、現在、広報やホームページ等<br/>を通じて行っているほか、まちかど市民講<br/>座においてテーマの1つとして設定し、<br/>市民からの要請があれば、コミュニティス<br/>クールの体制や具体的な事例などにつ<br/>いて、職員が出向いて説明することとし<br/>ております。</p> <p>さらに、コミュニティスクールのコーデ<br/>ィネーターによる広報ツール、例えば蝶屋<br/>小学校のコミュスク通信や石川小学校の<br/>活動だより、こういったもので、直接的に<br/>保護者や校区内の住民へ広報活動を展<br/>開している地域もございます。</p> <p>いずれにいたしましても、学校と地域が<br/>パートナーとして一体となり、子供の成<br/>長を見守るコミュニティスクールは令和6<br/>年度に本市の全小・中学校で開始され<br/>たところであり、その推進については関<br/>係者のみならず広く地域の皆様に御理<br/>解を頂くことが肝要であると考えてお<br/>ります。今後も根気強く市民への周知を<br/>続けてまいります。</p> |

松任高等学校との議会報告会・意見交換会で寄せられた意見（令和7年12月協議）

| No | 松任高等学校からの主な意見   | 常任委員会での協議内容（執行部からの回答）   |
|----|---|---|
| 1  | <p>輪島高校近くにNPO法人が運営している「わじまティーンラボ」があり、リラックスできる場、鬱積したものを吐き出せる場があった。若者が通う場、児童や生徒が集える場が欲しい。</p> | <p><b>【文教福祉常任委員会】</b></p> <p>市内には文化施設やコミュニティセンターなど、特徴のある施設が多数ありますので、施設の特徴に合わせて、誰もが利用できる開放可能な空間を、施設ごとのルールに沿って活用していただきたいと考えています。</p> <p>また高校生をはじめ、子供たちが居心地よくいられる場所には、にぎやかに過ごせる場所があれば、静かに学習に打ち込める場所もあると考えております。ニーズがどういったものか、子供たちの声を幅広く聞きながら、子供の視点で考えていかなければならないと考えております。</p> |

## 金城大学との意見交換会で寄せられた意見（令和7年12月協議）

| No | 金城大学からの主な意見   | 常任委員会での協議内容（執行部からの回答）  |
|----|---|--|
| 1  | <p>若者が政治を身近に感じられる取組（主権者教育、政治参加意識の向上）として、小・中・高校で政治に関心が持てる機会を設けてはどうか。</p> | <p><b>【文教福祉常任委員会】</b></p> <p>政治に関心が持てる機会として、小・中学校ともに社会科の学習があります。具体的には小学6年生の社会科の私たちの生活と政治において、身の回りにある政治や政治の役割、暮らしと日本国憲法のつながり、そして国民主権の原理である一人一人が国の政治に主体的に関わること、選挙によって代表者を選ぶ意義などを学んでいます。</p> <p>また、中学3年生の社会科においても、現代社会と私たちにおいて国民主権と国民の責任、政治参加、そして現在の民主政治と、社会においては、政治と民主主義、選挙の意義と仕組み、選挙の流れ、政党の役割などを学んでいます。さらに白山市では、模擬議会でもある白山市子ども会議を開催しています。子供の意見表明の場として意見交換し、政治に関心が持てる機会の1つとなっていると捉えています。</p> |